

**男女がともに
輝くために**

美浦村男女共同参画
～共に輝くみほの会～

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)208

共に輝くこと

中山 万律子

村に「あつぷるくらぶ」というサークルがあるのをご存じでしょうか。

妊婦から未就園児を持つ親子が主体となり活動しているサークルです。毎週木曜日に、主に子育て支援センターを利用し活動しています。

活動内容は、講師を招いて英語の日や工作の日、ボランティア団体の協力による食育や読み聞かせ会、役員を中心に行うイベント（お買物ごっこ、夏祭り、クリスマス）等と、とても充実しています。

このサークルの歴史は長く、平成元年から35年以上続いています。



「あつぷるくらぶ」は多くのボランティア団体と協力して活動しています。私たち「共に輝くみほの会」ともコラボ企画を実施し、いなほ消防署での救急救命講習会の参加、江戸崎地方衛生土木組合の環境センター内の見学会等を行いました。

このような特別企画を含め、どのような活動をしたいか、その時の参加メンバーで決めることができるため、年によって新しい活動ができるのも魅力です。



そしてもう一つ大切な活動に、デイサービスへの訪問があります。

年に2回デイサービスに訪問し、子どもたちがダンスを披露したり、一緒に身体を動かす遊びを利用者さんたちと行い交流しています。この活動では利用者さんたちに元氣と笑顔を与えることができ、また、子どもたちにとっても

ご高齢の方と触れ合う貴重な機会になっています。私の子どもも以前あつぷるくらぶに所属していましたが、卒業し幼稚園児になった今も

この活動には参加しており、また、小学生になった元あつぷるくらぶのメンバーが参加することもあります。



様々な活動の中で英語や工作が出来るようになること等、目に見える学びがあることはとてもいいことです。それと同時に、同年代の子どもを持つ保護者の交流や、ボランティア団体やデイサービスの利用者さんとの世代を超えたコミュニケーションのつながりも、お互いを支え合う大切な学びとなっています。

子どもたちは遊んでいるだけという感覚だと思いますが、子どもたちもしっかり役割を果たしていますね。



「共に輝くこと」とは、このようにそれぞれの立ち場からそれぞれの役割を果たしていくことなのではないかと考えています。

誰もが輝く社会の実現に向けて、本会は今後も、あつぷるくらぶや他団体との交流の機会を設けていきたいと思っています。



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「短・夜」

太く短く生きろと言うが細い道にも味がある

光賑わう都会の夜は星も見えない寂し街

いつも夜中に書きものしているいつかなりたい小説家

あの日なつかしランプのデイナー夜行列車の北斗星

夜の帳が静かに降りて遠く鐘の音物悲し

春は夜桜夏の夜ホタル秋は月見と洒落てみる

明日はお別れ涙で曇るたった一夜のかくれ宿

腰をかがめてジャガ芋煙夜の食卓母の味

太く短く言ってた俺がままにならずに八十も過ぎ

母の小包短い文に汗がにじんだ夏野菜

相撲野球と最短記録元氣もらえる若葉とき

深い闇夜も必ず明ける信じ前向き老いを生く

昼夜にぎわう木原の祭り地区の歴史を伝え継ぐ

嫁ぐ前の夜枕をならべ生きてきた道語る祖母

夕日赤々暮れない夜は酒がおいしいコップ酒

六月の俳句（題 当季雑詠）

初給料孫のおごりのステーキか

香を放つ霞浦の風受け花茨

冷奴なんとも旨き昼餉かな

眠る児に父の優しい団扇風

思案のせ蚊取線香くねくねと

先見えぬ人の一生はたた神

臥す窓に日がな一日の緑雨かな

寒暖差支度迷える梅雨の旅

甘藍はザクザク切ってスープ鍋

走り梅雨通販で買う晴雨傘



五十音順

石戸 律華

伊藤 葉子

井戸 賀蘇道

上野 八千代

小蘭 江久美

門脇 悠美

篠原 美千代

関根 秀子

高橋 一步

塚本 夏雲

沼寄 朋香

長谷川 悦子

山岡 亜子

山崎 笑子

山崎 泰弘

五十音順

市川 紀行

海道 民子

高柳 幸子

田島 早苗

中島 輝子

長田 敏笑

増尾 尚子

松葉 統子

村崎 典子

山口 美代子